

## 五所川原第一中学校が旧十川周辺の清掃活動を実施！

4 月24日、五所川原第一中学校の3学年と五所川原市町内会連合会の皆さんが旧十川周辺の清掃活動を行いました。

この活動は、総合的な学習の時間「未来創造学習～これからの未来社会は私たちが創る～」を使って、地域の自然環境の実態を捉え、改善に向けて行動する学習の一貫として旧十川沿い(一ツ谷橋から十川大橋、十川橋から鎌谷橋周辺)で実施されました。2030年までに達成すべき目標として掲げたSDGs(関連目標「11 住み続けられるまちづくりを」、「14 海の豊かさを守ろう」、「15 陸の豊かさを守ろう」)への理解を深め、ふるさとの環境保全に対する意識を高めることを目的としています。



清掃活動の様子(左)と町内会連合会の皆さんと交流する様子(右)

## 五所川原第三中学校「530ボランティア活動」

5 月29日、五所川原第三中学校において、地域清掃を通して地域社会に貢献する喜びを体験すること等を目的に「530(ごみゼロ)ボランティア活動」が行われました。

1学年はみどり町全域を対象に地域の清掃を、2・3学年は明治安田生命保険の皆さんと共に、各家庭から出された空き缶やペットボトル、新聞紙などリサイクル品の回収を行いました。

活動に参加した3学年でボランティア委員会委員長の古川蒼空さんは「五三中全体でゴミ拾いができて、地域のためになったのかなと思います」と感想を話しました。



協力してリサイクル品を運ぶ生徒の皆さん

## イワナ・ヤマメの稚魚を放流

6 月4日、旧十川漁業協同組合(石戸谷秀一代表理事組合長)は、飯詰ふれあいパーク付近の飯詰川や金木川でイワナとヤマメの稚魚を放流しました。

川の資源を保護し育成することを目的として実施するこの取組には、就労継続支援B型事業所「拓」の利用者、たかたて保育園の園児、いずみ小学校の4年生児童が参加しました。

「拓」のサービス管理責任者の島村霞さんは、「漁業組合の方と協力し、子どもたちが稚魚に触れる機会を作ることができて良かった」と話しました。



バケツから稚魚を放流する園児